



那須真理子さん(鉄砲小路)が 熊本県農業コンクールで地域貢献賞を受賞

平成22年度熊本県農業コンクール大会表彰式が2月3日、熊本テルサで行われ、本町的那須真理子さん(鉄砲小路)が地域貢献賞を受賞しました。

那須さんは、農業・農村の男女共同参画の推進のために、課題を取り上げた寸劇の上演を行うなど、



▲表彰を受けた那須さん

地域に根ざしたコミュニケーションづくりに尽力されてきました。また、畜産部門のリーダーとしての活動や農業委員として地域農業の活性化に貢献されたことなどが認められ、今回の受賞となりました。

このとり保育園 卒園記念の陶芸教室

卒園記念の陶芸教室が2月2日、このとり保育園で行われました。

年長児11人は、陶房「恵泉」の恵泉祐介さん(三里木)に陶器の作り方を教えてもらい、粘土を練って皿やコップなど、思い思いの作品を製作しました。

作られた陶器は恵泉窯で焼かれ、卒園式の日配られます。

世界に1つだけのオリジナルの作品に、園児たちは満面の笑みを浮かべていました。



▲恵泉さんの指導の下、粘土をのびし製作開始

東部町民センター発表会 1年間の講座の成果を披露

第27回東部町民センター発表会が2月13日、東部町民センターで行われました。

20を超える主催講座がステージ発表を行い、講座生による舞踊や社交ダンス、大正琴のほか、なかよし保育園児による龍神太鼓の踊りや中部小学校の子どもたちによる学習会の発表などが行われ、大勢の人でにぎわいました。また、ヨガや気功など、来場者と一緒に体験できる発表もあり、会場が一体となって触れ合うことのできる発表会になりました。

展示発表の部では、書道作品、絵てがみ、押し花作品などが展示され、来場者はその見事な出来栄に足を止め、感心していました。

最後に、ふれあい劇団による「がんと一発」～家族の絆～の人権劇が発表されました。同劇団の寸劇は、3月5日に行われる菊陽町人権教育研究大会でも上演されます。



▲舞踊を披露する講座生



▲書道などたくさんの作品が展示される

みどり園で水のお話し会 水の大切さを学ぶ

水のお話し会が1月25日、みどり園で行われました。これは、熊本県水環境課が、子どもたちに水の無駄遣いに気づかせ、節水の方法を知ってもらおうと取り組んでいる活動です。今年は地下水を共有している11市町村の全幼稚園・保育所の中から、本町のみどり園を含む4園が選ばれました。

お話し会では、県水環境課の佐藤文雄さんが、園児たちに県内の渓谷や湖の紹介、水の使用量などを分かりやすく説明。さらに、ペットボトルに土を入れて作ったろ過装置で地下水のでき方を教えました。

熊本県は地下水に恵まっていますが、水を使いすぎると将来はなくなってしまいます。園児たちはこの会を通して、「手を洗うときは水を出しっぱなしにしない」「歯磨きをするときはコップを使う」「トイレは大小のレバーを使い分ける」などの「節水」の方法を学び、水の大切さを知ることができました。

これからは、保育園でも家庭でも、水を大切にすることを心がけて行動することでしょう。



▲泥水がろ過されてきれいな水になることにびっくり

境の松区 公民館の上棟を 餅まき(ひとぎ)で祝う

新公民館の上棟を祝う餅まき(ひとぎ)が1月15日、境の松区(中村誠喜区長)で行われました。

中村区長宅の納屋では朝9時から婦人部や子ども会、区役員が集まり餅つきを始めました。20^{kg}のもち米が蒸され、次々と臼へ運ばれると、子どもたちは力いっぱい杵を振り下ろし、たくさんの丸餅を作りました。

新公民館で餅投げが行われ、たくさんの区民が集まって紅白のお餅を拾いました。



▲力いっぱい餅をつく子どもたち

光の森キャロット保育園 親子で離乳食試食会

離乳食試食会が1月14日、光の森キャロット保育園で行われました。この会は、保育園の離乳食を知ってもらおうと、支援センターの活動の一環として行われています。

試食会には親子9組が参加。離乳食を食べる段階を3段階に分け、それぞれにあった離乳食を試食しました。また、園の給食の先生や保健師、栄養士も参加し、家庭での離乳食の作り方、味付けなどをアドバイスしていました。



▲お母さんと一緒に保育園の離乳食を体験